

名古屋都市センター 平成25年度研究成果報告会

2014/6/10

名古屋都市センター平成25年度研究成果報告会を開催しました。

報告会では、公募により選ばれた専門家による特別研究1件、公募により選ばれた市民グループによる市民研究1件、当センター職員による一般研究7件、NUIレポート1件、そして、学識者等を交えた研究会による提言2件の合計12件の研究成果を報告しました。

報告会には、市民、大学、企業、行政等、90名の方にご参加いただきました。

なお、詳しい報告内容については、名古屋都市センターホームページ (<http://www.nui.or.jp/kenkyu/25/index.html>) に調査研究報告書を掲載しておりますのでご覧ください。



報告会の様子

夏休み「だがねランド2014」

2014/7/19～8/23

「だがねランド2014」が幕を閉じました。今年も多くの子どもたちの歓声に包まれて5週間を過ごしました。

「だがねランド2014」は、7月19日（土）～8月5日（火）にまちを計画・建設し、8月6日（水）からは出来上がった「だがねランド」で遊んだり、学んだりと楽しく体験してもらうためのプログラムです。

「まちをつくる」ために7つのワークショップ（以下WS）を行いました。応募倍率は多いもので8.8倍、平均でも約5倍ととても高くなりました。

今年の「都市計画WS」で建物を切妻屋根の妻入りで統一することが決まりました。また、まち並みに楽しさをだすために建物は曲線を描きながら繋がっていくようにし、建物を丸く配置して小さな広場をつくる工夫もしています。

建築WSでは、より広く建物のことを学んでもらおうと、木造建築WSでツシ2階の建物に挑戦しました。2階の小さな空間は、ま



都市計画WS：片木篤氏



木造建築WS：小原勝彦氏

ちがオープンすると子どもたちに大人気になりました。頬杖や筋交いもつけ、十分に強度を持たせましたが、常時微動測定を行いそれぞれの固有振動数を測りその強度を確認しました。

DAS（だがねオールスターズ）WSのだがねランドオリジナル木製フレームで建てる建築では、妻壁もきちんとデザインされ、屋根もカラフルなかわらが葺いてあるもの、天窓を付けたものなどかわ

い建物が並び今年のまちなみがより楽しいものになりました。

今年の「だがねランド」のシンボルになる建物を設計・施工するWSでは、頭を悩ませましたが、施主の「ツリーハウスを意識した建物でまちなみを見渡せ、なおかつワクワクする建物」という難しい意向にも沿うものが計画されました。設計を独立させて1日半の時間を費やしたことが功を奏したと思います。大工さんWSでも

この設計を受け多くの部材を刻み、困難な工事にも果敢に挑み、結果見る者、おとなをも唸らせる完成度の高い建物ができることができました。「ツインペンタ」という命名もされ、子どもたちに親しまれました。



建築家WS：曾我部昌史氏



ホール内にできたまちなみ

そして最後にホールの中にまち体験で作られた商品の中から選ばれた品の展示棚や荷物を入れるロッカーを建物に見立てて配置し、今年のまちが出来上がりました。

8月6日のまちのオープンからたくさんの子どもたちが来館し、「〇〇買ってくださーい。」の声もにぎやかにまちが息をし始めました。期間中子どもたちは、商品の売買だけでなく、まちを運営していくための

様々な仕事をこなしながら、「建築やまちづくり」を題材にした試験（アーキテクチュア試験）にも挑戦。それぞれの楽しみ方をみつけ、連日訪れる子どもも見受けられました。

「だがねランド」が、子どもたちが構築環境に関わるための基礎的な知識を持つきっかけになれば幸いです。



「ツインペンタ」からまちを見る